

## 愛知県重症外傷センター（仮称）の試行に係る令和5年上半期分検証結果について

本県では、令和5年1月23日から名古屋掖済会病院と愛知医科大学病院を重症外傷センター（仮称）試行病院とし、試行運用を開始している。

試行運用期間における治療実績等を半年に1回検証することとなっており、令和5年上半期分の検証会を令和5年11月1日に開催した。

### 1 検証会内容

#### (1) 愛知県重症外傷センター（仮称）の試行に係る令和5年上半期の概況について

##### ✓ 試行病院

- ・名古屋掖済会病院
- ・愛知医科大学病院

##### ✓ 試行区域（以下の消防機関が管轄する地域）

- ・名古屋市：名古屋市消防局
- ・海部地区：津島市消防本部、愛西市消防本部、蟹江町消防本部、  
海部東部消防組合消防本部、海部南部消防組合消防本部
- ・尾張東部地区：瀬戸市消防本部、尾張旭市消防本部、尾三消防本部

##### ✓ 令和5年上半期検証 対象期間

- ・令和5年1月23日～令和5年6月30日

##### ✓ 試行運用の搬送ルールの概要

- ・重症度・緊急度が高く生命に危険がある重症外傷患者について、各消防機関が直近の救命救急センター等に受入れを要請するが、当該医療機関が受入れ不能であった場合、試行病院に搬送する。

##### ✓ 予後情報について

- ・3次救急医療機関にデータ提供依頼を行い、回答のあったものを記載した。

✓ 令和5年上半期 重症外傷搬送事例（括弧内はうち試行区域分）

・ 県内全域：45例（20例）

⇒うち死亡例：11例（7例）

⇒そのうち、予測生存率（Ps）50%以上の死亡例である 4例（2例） を重点検証した。

・ 「試行運用の搬送ルール」に合致したもの：2例（2例）

⇒いずれも、予測生存率（Ps）95%以上で、「生存例」であった。

(2) 個別事例検証

✓ 検証結果

・ 重点検証の4例について、防ぎえた死（PTD）に該当するものは無かった。（1例情報少なく判断保留あり）

個別検証事例の概要

i) 試行区域、試行病院ではない3次救急へ搬送、刺傷、Ps：93.1%

ii) 試行区域、試行病院ではない3次救急へ搬送、プレス機挟まれ、Ps：53.1%

iii) 試行区域外、試行病院へ搬送、交通事故、Ps：71.1%

iv) 試行区域外、試行病院ではない3次救急へ搬送、交通事故、Ps：88.6%⇒判断保留

2 今後の主なスケジュール（予定）

令和6年3月	○令和5年下半期検証会 ・ 下半期（7月～12月）の検証 ・ 試行期間（1年間）の検証結果の取りまとめ
令和6年4月以降	○令和6年度第1回救急医療協議会 ・ 試行期間（1年間）の検証結果の報告 ・ 本格導入（又は試行期間延長）の検討
令和6年度中	○令和6年度第1回医療審議会5事業等推進部会 ・ 試行期間（1年間）の検証結果の報告 ・ 本格導入の是非（又は試行期間延長）の決定